



名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

NO. 849

<本年度クラブ会長方針>

ロ - タリ - 100周年を「職業奉仕で祝おう」

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 新沼 操 URL <http://www.nagoya-osu.org> e-mail office@nagoya-osu.org
 幹事 川畑 博敬 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337
 事務局 460-0008 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル 6F



2004~2005年度
 R.I.会長
 グレン E. エステス・シニア

職業奉仕月間・米山月間

第985例会

パネルディスカッション

「大須の街のさらなる活性化を

めざして」

於 大須観音「講堂」

2004年10月14日(木) 18:00

会員 67名

出席計算数64名中47名出席

出席率 73・44%

前々回出席率 96・88%

ゲスト

安田 文吉さん

石原 司郎さん

中野 俊治さん

井澤 知且さん

大須商店街の皆さん

ニコボックス

大須の街のさらなる活性化をめざして。 新沼 操 横井 衛

岡部 快園 横内 恭 湯山 淳三

大須地区の整末を。 吉田 隆彦

伊藤 与則 吉田 明夫 杉本 英夫

大須の明日をめざして。 伊藤 清次

酒井 修 佐藤 彰 近藤 宏一郎

がんばれ大須。 加藤 正樹

新ルール ショートヘア優勝しまし

た。吉田さんに感謝 田崎 雅三

杉浦さん もう少し練習を積んでく

ださい。 尾上 昇

業界の大会でカナダのモントリオールに行ってまいりました。無事帰国できました。 勝野 隆

会長挨拶

新沼 操

皆様今晩は、「大須の街のさらなる活性化をめざして」と題したパネルディスカッションを企画し、開催いたしましたところ、大変お忙しい中、多数の方のご参加をいただきまして、ありがとうございました。クラブを代表いたしまして厚くお礼申し上げます。

私共、名古屋大須RCは、名前の通り、この地域の中で活動するRCであります。昨年創立20周年を迎え、これを期にクラブ細則第15条宣言第1節に「地域社会との共生」とい、ロータリークラブのもとに「地域社会と共生し奉仕の理想を実現することに努める」といたしました。

この宣言に基づき、今後のクラブ運営の指針の根源を、「大須の街の進展と共に」と定めさせていただきました。昨年、わがクラブは、創立20周年記念事業を大須商店街連盟の皆様方の絶大なご協力のもとで、「大須観音鬼の嫁取り物語」を160名位の方々のご参加をいただき実施いたし、ささやかながら大須の街の振興に貢献させていただきました。本年度もクラブ細則、宣言に基づきを変えまして、「大須の街のさらなる活性化をめざして」と題し、今日ここにパネルディスカッ

ションを開催いたしました。

コーディネーターを務めますのはわがクラブの重鎮、横内様、パネリストとして愛知郷土史、江戸時代文化などに造詣の深い南山大学教授安田様、大須観音、大須RCのメンバーでもある岡部様、現在大須の中でご商売をなされ大須の町の名前よりも有名な(株)コメ兵の石原社長様、今開催表題通りの大須近代化協同組合理事長中野様、確固たる都市論を持つておられるとお聞きしている(株)都市研究所スベシア 工学博士の井澤社長様、以上、ご案内いたしました通り、それぞれの部門の方々にご出席をいただきまして、パネリストの皆様、大変お忙しい中ご出席を賜りましてありがとうございます。

今回の催しにより大須の街がさらなる発展と近代化につながるヒントを受け、さらにわが大須RCも今後大須の街とどう関われば良いかを学びたいと思います。 本日の催しが、限られた時間ですが成功裡に終わります事を願い、挨拶とさせていただきます。

第985例会報告
 クラブ活性化委員会
 委員長 尾上 昇
 パネルディスカッション
 「大須の街のさらなる活性化をめざして」



日時 平成16年10月14日(木)
 18:00~18:00

場所 大須観音「講堂」
 パネルディスカッション

コーディネーター

横内 恭氏

(大須RC、元中日新聞代表)

パネリスト

安田 文吉氏(南山大学教授)

岡部 快園氏

(大須RC 大須観音貴主)

石原 司郎氏(株)コメ兵 代表

取締役社長)

中野 俊治氏

(大須近代化事業協同組合 理事長)

井澤 知且氏(工学博士(株)都市研究所

スベシア代表取締役)



第985回例会が、クラブ活性化(委)の主導によってパネルディスカッションという形で開催された。この例会の目的は、クラブの20周年を契機として「宣言」として定められた「大須の街と共に」というクラブの運営指針にもとづくものである。

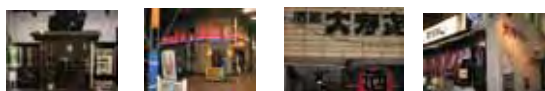
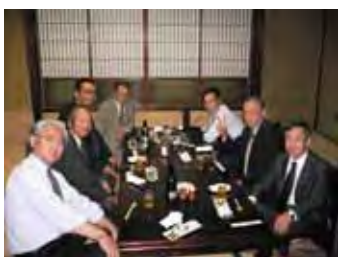
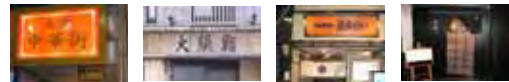
パネルディスカッションは、横内コーディネーターの巧みなリードにより、個性溢れるパネリストの皆さんが熱弁をふるった。これからの大須の街は、そして私達が「大須の街の活性化に何が貢献できるかを問うたのであるが、大いに盛り上がったディスカッションからは、数々の示唆に富んだ答えが返って来て、参加者に共感を与えた。

この例会には、クラブのメンバーの他に、大須の街に暮らす人達にも参加していただき大須の街のこれからを共通の視点で共に考える場とさせてもらった。質疑応答の時間では、会場メンバーから大須の街に望む声や、パネリストからもクラブに対する具体的要望も出され大いに沸いた。

またパネルディスカッションの終了後は、メンバーを5から6名ほどのグループに分け、予め決めておいた大須の街の飲食店に繰り出し、大いに親睦を深めた。この試みは、大須の街へのクラブとしてのささやかな貢献の意味を含めていることは、いうまでもない。



パネルディスカッションの後で・・・



ブリテン委員会 小澤 幸男・太田 裕・中根 了晟・鈴木 三郎・杉浦 令淑